

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	可児市・御嵩町中学校組合立共和中学校	
実施期間	平成26年10月23日(木)～11月11日(火)	
実施概要	① 職業体験学習(2年生)・・10/23・24 ② 芸術鑑賞会(全学年生徒と保護者、地域関係者)・・11/1 学年懇談会(含 体育大会、各学年行事のスライド観賞) ③ 公民館祭・町文化祭(兼山・伏見:美術絵画・書写作品)・・11/8・9 ④ 小中合同挨拶運動(執行部) 11/10・11	
実施内容	学習・取組の分野 ■自然 ■歴史 ■文化 ■産業 ■その他	
	公開の方法 ■授業公開 ■成果発表 ■交流活動 ■講演会等 ■地域行事等参加 ■その他	
来校者数	保護者	約100人
	地域関係者	約100人
	計 約200人	
実施状況	① 職業体験学習 2年生71名がキャリア教育の進路(生き方)学習として、御嵩町や可児市の43事業所で2日間職業体験を実施した。 ② 芸術鑑賞会と学年懇談会 生徒177名と保護者100名、地域関係者100名が美濃加茂高校の吹奏楽部によるマーチングバンドを鑑賞したり体験したりした。その後、懇談会を行い、子どもの様子を交流した。 ③ 地域公民館祭・町文化祭 公民館主催の行事である、伏見地区公民館祭・兼山町文化祭に生徒作品を展示する形で参加し、学習の成果を披露した。国語「書写」美術「デッサン・立体構成画・動物画他」 ④ 挨拶運動(伏見小学校 兼山小学校) 生徒会執行部が本校の校門や街中に出かけ挨拶運動を展開した。また、小学生と共に小学校でも挨拶運動を行った。	
成果及び課題	① 「職業体験学習」について ○地元の企業や施設の方の協力のもと実施した。地域の方々に中学生を温かく迎え入れていただいた。 ○2日間の職業体験で、公共性や社会性を身につける機会となった。また、今後の進路を決める一助となっている。 ○生徒の自立に向けた取り組みとなっている。 ② 「芸術鑑賞会と学年懇談会」について ○見学する生徒の眼の輝きがあった。 ○生徒や保護者が、岐阜県の中でも有数なマーチングバンドを見学し芸術や高校生の姿から学ぶところがたくさんあった。 ○高校や高校生を知る機会にもなった。 ○学年ごとにまとめた「体育大会や行事」を写真や映像で振り返ることは、学校の教育目標を具現化した姿として好評であった。 △家庭の教育力における「家庭学習の定着」などの視点を話し合いのテーマにできるとよい。 ③ 「地域公民館祭・文化祭」について ○毎年恒例の出品で地域の方の期待も大きく、今年度も美術作品は見ごたえのある力作で地域の方々からは好評であった。 ○日頃、中学生の学習の成果に触れることのない地域の方にとってうれしい展示との声をいただいた。同時に、地域の方々の作品に混じって中学生の作品が並んで展示されていて地域の温かさを感じ取ることができた。 ④ 「挨拶運動」について ○伝統の3つの柱(挨拶、合唱、掃除)の一つをレベルアップしようと、生徒会執行部が実践できた。挨拶を校区の小学生や地域にも広げようという意欲的なものとなった。手本となる東濃実業高校の生徒や地域の方と交わす挨拶に心地よさを感じることができた。 △日常活動における挨拶に依然として弱さが見られる。	

